

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	安全安心の確保と、人と自然がもっと元気になる再整備計画												
計画の期間	平成29年度 ~ 平成33年度 (5年間)										重点配分対象の該当		
交付対象	藤枝市												
計画の目標	<p>蓮華寺池公園は、市民の憩いの場または本市のシンボルとして愛され、桜や藤の名所として県内外から年間約140万人以上の来園者を集める人気施設であるが、開設30年以上が経過し施設の老朽化対策と新たなニーズへの対応が急務となっている。</p> <p>本公園の再整備については多くの市民から高い関心を集めており、藤枝市としても本市の持続可能な発展に資するものとして重要施策に位置づけ、平成28年度には蓮華寺池公園再整備計画を策定するなど、事業実施への熟度が非常に高まっている。</p> <p>このような中、老朽化した既存公園部分の改修により安全・安心の向上を図ると共に、新たなニーズに対応できる施設整備を実施し、更には本公園の豊富なコンテンツを活用した観光、健康、教育、環境などに資するソフト事業も多角的に展開することで、ストック効果を最大化させ、人と自然がもっと元気になれる公園の再整備を目指す。</p>												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	1,000	A	998	B	0	C	2	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0.2	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
1	蓮華寺池公園における年間入込客数を140万人/年(H28)から167万人/年(H35)に増加 蓮華寺池公園における年間入込客数	H28.3末 140万人	万人	H35.3以降 167万人
2	蓮華寺池公園における年間イベント開催回数を50回(H27)から100回(H35)に増加 蓮華寺池公園における年間のイベント開催回数	50回	回	100回

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H29	H30	H31	R02	R03				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	藤枝市	直接	藤枝市	-	-	都市公園事業(蓮華寺池公園)	園路新設2箇所、広場整備3箇所、滑り台改修1基、植栽等10ha	藤枝市						998	1.39	-	
												小計						998		
											合計						998			

C 効果促進事業

基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H29	H30	H31	R02	R03			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
都市公園・緑地等事業	C12-001	公園	一般	藤枝市	直接	藤枝市	-	-	案内標識整備事業	案内標識設置 N=1基	藤枝市						2	-	
		案内標識を設置することにより、来園者の利便性の向上を図る。																	
											小計						2		
											合計						2		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
藤枝市社会資本総合整備計画評価委員会設置要綱に基づき、当該委員会において事後評価を実施。	令和6年2月
	公表の方法
	藤枝市ホームページにて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	本計画により、老朽化した施設が整備され、施設の安全性及び魅力が増加した。 令和2年より蔓延した新型コロナウイルスの影響により、来園者数は目標値に届いていないが、駐車場や遊具、イベント会場等を整備したことにより公園の魅力、利便性が大きく向上し、イベント件数の増加に繋がった。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	本計画の施設整備により、安全な歩行空間の確保やトイレ、園路のバリアフリー化が実施されたことで、来園者の誰もが安全で円滑に利用でき、多様な目的で賑わう公園づくりに寄与している。
特記事項（今後の方針等）	
再整備により向上した公園の魅力を発信するとともに、公園の更なる魅力向上を図り、地域に愛される公園づくりに努めていく。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	蓮華寺池公園における年間入込客数	
	最終目標値	167万人
	最終実績値	120万人
2	蓮華寺池公園における年間のイベント開催回数	
	最終目標値	100回
	最終実績値	366回